



菊武学園フラッシュニュース

心あたたまる「KIKUTAKE ルミナ」

名古屋産業大学・名古屋経営短期大学 では、12月16日に冬の恒例行事であるイルミネーション点灯式「2025 KIKUTAKE ルミナ」を開催しました。学生たちがペットボトルの中にLEDライトを入れて作ったランタンの淡い光りが、2月14日までキャンパスを彩ります。

本イベントは、学生・教職員・地域の皆さまとの交流を深めるとともに、学生の主体的な活動を促進することを目的に実施されています。1号館前正門広場を会場に多くの学生や関係者が集い、会場はあたたかな雰囲気に包まれました。

点灯式は、学友会によるオープニング企画からスタートし、本学版「今年の漢字 1 文字」が発表され、開始直後から会場は笑顔と拍手にあふれました。イルミネーションが点灯されると、子ども学科の学生によるトーンチャイム演奏が披露され、澄んだ音色が会場を包み込み、幻想的な雰囲気を演出しました。

その後も、子ども学科による音楽劇「みんなで作るクリスマス」をはじめ、学生有志によるダンスやビートボックス、ダンス部の迫力あるパフォーマンスなど、多彩なステージ企画が次々と展開されました。

仲間と声を掛け合いながら表現する姿や、観客と一体となって盛り上がる様子が随所に見られ、会場は終始、活気と熱気に包まれていました。



(KIKUTAKE ルミナの様子)

アクトコース集大成となる感動の「卒業公演」

菊華高等学校 では、12月17日に「第12回 菊華高等学校アクトコース卒業公演」を守山文化小劇場にて開催しました。本公演は、3年間にわたりエンターテイメントに関する専門的な学びを積み重ねてきた生徒たちが、その成果を発表する舞台です。テーマ設定や構成、振り付け・選曲、音響・照明に至るまで、すべてを生徒主体で企画・制作し、一から舞台を創り上げました。

今年のテーマは「世界旅行」です。空港をイメージしたオープニングダンスから始まり、各国でダンスやバンド、ウォーキングといった多様な表現活動を通して成長していくストーリーが展開されました。帰国後に行われる卒業式の場面では、生徒一人ひとりが事前に用意した、保護者へ宛てた手紙が読み上げられ、会場は大きな感動に包まれました。仲間とともに喜びや悔しさを分かち合いながら歩んできた日々が、この卒業公演の成功へとつながりました。終演後、生徒たちの表情は達成感と感動に満ち、ひとときわがやに輝いていました。



(卒業公演の様子)

本物の音に心震わせる「芸術鑑賞会」

菊武ビジネス専門学校 では、12月22日に「芸術鑑賞会」をウィルあいちにて開催しました。今回は生の音楽に触れ感性を高めることを目的に、セントラル愛知交響楽団をお迎えし、ビゼー『カルメン組曲』の華やかな旋律や、ベートーヴェン『運命』の力強い響きなど計5曲が披露され、生徒たちはプロの圧倒的な演奏に引き込まれました。

曲間には楽器の紹介や、代表生徒3名による指揮者体験コーナーが設けられ、会場は大きな盛り上がりを見せました。登壇した生徒は緊張しながらも、自分のタクトで音に変化する楽しさを感じていました。また、校歌の特別演奏もしていただき、いつもとは違った豪華な伴奏に合わせて歌詞を口ずさむ姿が見られました。芸術の奥深さを肌で感じる、貴重なひとときとなりました。



(指揮者体験の様子)

研修の旅へ 沖縄・リゾナーレハケ岳

名古屋ウェディング&フラワー・ビューティ学院 では、冬休みを前に、本校学生らは普段の学びをより豊かな実りへと昇華させるべく、研修旅行へと旅立ちました。

2年生は12月14日から2泊3日で沖縄卒業研修旅行へ出かけ、「ブライダルビジネス科」は沖縄の海を一望できるチャペル見学、「フラワービジネス科」はトルコ桔梗・胡蝶蘭の生産農家と市場訪問、「トータルビューティ科」は琉球リラクゼーションスパで全身アロママッサージ&炭酸ヘッ

ドスパ体験をしました。そして、「ブライダルビジネス科」の1年生は12月17日から1泊2日で星野リゾート・リゾナーレハケ岳研修旅行へ出かけ、自然体で楽しめる滞在型リゾートウェディングの魅力を、身をもって感じてきました。

各学科とも、研修を通じて様々な体験を楽しんで参加することができ、有意義な時間を過ごすことができました。



(沖縄研修)



(リゾナーレハケ岳研修)

笑顔あふれる「ボウリング大会」

豊橋宮野ビジネス高等専修学校 では、12月18日にクラスマッチが行われ、今回はスポーツ種目の一つとして「ボウリング大会」が開催されました。会場となった岩屋キャノンボウルには、生徒たちの笑い声とピンが倒れる爽快感が響き渡りました。

競技はクラス対抗戦形式で、各チームが2ゲームの合計スコアを競いました。ストライクを決めた瞬間には仲間とハイタッチ、惜しくもガターになった時には笑い合うなど、勝敗以上にクラスの団結を感じられるひとときとなりました。

今回の大会を通じて、生徒たちはスポーツの楽しさだけでなく、仲間と協力する喜びを改めて実感したようです。



(ストライクを決め喜ぶ生徒)

名産大生と一緒に「クリスマス会」

菊武幼稚園 では、12月18日に「クリスマス会」を2階講堂にて開催しました。当日は朝から名古屋産業大学現代ビジネス学科3年生6名が来てくれて、各教室に1人ずつ入り、子どもたちのお世話をしてくれました。

クリスマス会では、学生からのクリスマスソングの披露とクリスマスクイズの出し物に、子どもたちは大喜びでした。その後、子どもたちは『あわてんぼうのサンタクロース』を歌い、サンタさんから一人ひとりにプレゼントが渡されました。

学生たちは、各教室に戻ってからも子どもたちにたくさんお話をしてくれて、帰る頃には「帰っちゃ嫌だ!」と言われていました。

今年は、学生たちが参加してくれたことで、子どもたちにとって昨年以上に楽しいクリスマス会となりました。



(クリスマス会の様子)

心ひろがる年長の「手話」

稲葉保育園 では、12月17日に今年度始めた「手話」を、年長児が保育参観で保護者に披露しました。一人ひとりが一歩前に出て自分の名前を、そして、全員で『さんぽ』の曲を手話で発表しました。

手話は指を使って行うので、指の使い方が難しかったのですが、何度も子ども同士見せ合ったり、他クラスに発表したりすることで、手の動きもスムーズになり、当日は緊張しながらも上手に披露することができました。保護者の方も子どもたちの成長を喜び、大きな拍手を送っていました。



(歌を手話で表現する園児)